

新議長・副議長に聞く



5月14日に開かれた本会議で、議長・副議長の選挙を行い、議長に国出拓志議員、副議長に石井宏法議員が選任されました。

議会の代表である2人に、今年度の取り組みや市民へのメッセージを聞きました。

撮影場所 議会棟3階 議場

副議長 石井 宏法 (44)

自由民主党明石 在職2期

今年度の取り組み

市民サービスの充実や行政運営の効率化を図るため、AIなどのデジタル技術の積極的な活用を進めるとともに、組織全体を改革し、市民の暮らしや行政等のあらゆる分野でデジタル変革を推進していきます。

具体的には、マイナンバーカードや運転免許証の情報を読み取り、各種申請書に住所・氏名等が自動で印字できる機器を導入し、書かない窓口を推進するとともに、オンライン申請ができる行政手続きを拡充し、行かない窓口を推進していきます。

石井副議長に聞く

きます。

また、キャッシュレス決済やオンライン決済を導入し、市民の皆さまの利便性の向上を図っていきます。

市民の皆さまへ

開かれた議会を目指し、議会での意思決定や政策について、プロセスを含めてより分かりやすく市民の皆さまに発信していきます。

そして、さまざまな声に耳を傾け、行政と協力しながら、本市の未来をより良い方向に導いていくよう努めてまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

議長 国出 拓志 (68)

公明党 在職5期

今年度の取り組み

近年、気候変動などによる大規模な自然災害へのリスクが高まっており、いざというときの備えや対応力が求められています。

本市が目指す安全安心に暮らせるまちとは、災害に強いまちであり、備えや対応については、ソフト・ハードの両面から取り組む必要があります。

ハード面においては、インフラ整備など災害に強い基盤づくりに努め、ソフト面においては、全ての人が安心して避難生活を送れるよう、多様な視点から備蓄物資を確保する

国出議長に聞く

とともに、福祉避難所の拡充に努めます。

また、要配慮者に対する個別避難計画を作成し、避難訓練の実施や避難サポートの養成など、地域住民同士が支え合う体制づくりを図っていきます。

市民の皆さまへ

現在、物価が高騰し、市民生活にも大きな影響を与えています。市民の皆さまが今後も安心して暮らし、働き続けられる活気あるまちづくりを進めていくため、スピード感を持ってさまざまな課題に取り組んでまいります。